

## 資料 4

### 平成30年度足袋蔵モニターツアー・足袋づくり体験ツアー実施報告（概要）

#### 1 事業目的

「足袋と足袋蔵」の周知と体験型観光の推進のため、モニターツアー及び足袋づくり体験ツアーを実施するもの。

#### 2 実施日及び内容

- ・ 1回目 10月27日（土）：アジア系国籍の方を対象としたモニターツアーを実施（11名参加）
- ・ 2回目 11月10日（土）：欧米系国籍の方を対象としたモニターツアーを実施（15名参加）

#### 3 モニターツアー行程 ※1回目、2回目同様

- 9：00 JR 行田駅（集合）
- 9：30 古代蓮の里（田んぼアート鑑賞）
- 10：45 足袋とくらしの博物館（足袋づくり体験）
- 12：15 忠次郎蔵で昼食（蕎麦・ゼリーフライ）
- 13：15 さきたま史跡の博物館
- 14：30 忍城址見学
- 15：10 みなとや旅館（旅館体験・浴衣と足袋の試着）
- 16：30 JR 行田駅（解散）

#### 4 考察

- ・「行田市」の知名度は全体の25%と低く、更なるプロモーションの強化が必要である。
- ・「足袋づくり体験」についてアジア圏・欧米圏共通して参加者の9割が満足と回答し、体験プログラムへの関心が高いことがうかがえる。
- ・「旅館体験」についても、アジア圏、欧米圏ともに関心が高かったことから、「旅館」をひとつのコンテンツと捉え、「足袋」を絡めたツアーの造成などで呼び込む機会を創出していくことが必要である。ただし、参加者からは、トイレの洋式化やWi-Fi環境など設備面の不満が出ており、またスタッフや案内板等の多言語対応についても指摘がされたことから、並行して受入環境の整備を行っていく必要がある。
- ・アンケート結果より、圏域による差はさほど大きく出なかったことから、今後は関心の高かった「旅館」を利用した安価なプランを含む体験型コンテンツの充実・強化を図った上で、広く情報発信・プロモーションを展開し、「行田市」の認知度を向上させることが必要と考えられる。

